

事業シート(平成30年度決算)

事業名	91200 外国青年(外国語指導助手)招致事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約	・児童・生徒の一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育、地域や地場産業を学び・体験する教育(郷土への誇り・愛着の醸成)などを充実します。
			款	9	教育費		個別分野	1	学校教育		
			項	1	教育総務費		施策概要	1	自ら学び考える力の育つ教育の推進		
			目	2	事務局費		根拠計画	高山市教育振興基本計画			
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・児童生徒が生きた英語に接し、コミュニケーションする機会を得る中で、英語を中心とする異文化理解の資質を養うとともに、郷土を愛し郷土の文化を尊重する態度を育てる。	概要	・外国語指導助手(ALT)を招致し、小中学校における次のような英語指導等を進める。 ・小学校の英語活動の時間に、担任とともに簡単なコミュニケーション活動を行う。 ・中学校の英語の時間に英語教師とともに英語指導をする。 ・イングリッシュシャワーや英語スピーチコンテストなどに参加する児童生徒の支援をする。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		12,939	11,309	12,872	12,919	10,149	△ 1,160
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(外国青年招致事業雑入)	1,320	1,288	1,320	1,320	1,464	176
一般財源		11,619	10,021	11,552	11,599	8,685	△ 1,336
個票枝番	主な事業内容						
	外国青年(外国語指導助手)招致事業費	12,939	11,309	12,872	12,919	10,149	△ 1,160

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		13,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
12,499	12,648	12,648	△ 224	
1,320	1,320	1,320	0	
11,179	11,328	11,328	△ 224	
査定額	説明			
12,648				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・各中学校を基点とし、外国語指導助手(ALT)を全小中学校へ派遣 ・中学校1学級あたり1週間で平均2時間訪問
評価等	・母国語が英語のALTから指導を受けることによって、コミュニケーション能力の素地(小学校)及び基礎(中学校)を身につける機会を充実させるとともに、異文化理解を深めるといふ文部科学省の方針にそった活動が出来た。 ・ALTの活動が効率的になり、学校への訪問時間が平準化してきた。 ・指導力向上のために、経験ALTが新規ALTの授業へ定期的に訪問し、授業力向上の研修を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・外国語指導助手(ALT)を市内全小学校全学級(3~6年)で全時間、全中学校全学級週2時間派遣 ・年3回小・中学生を対象とした英語のイベントを開催 約170名参加 ・消防署や駅、病院等で行われる外国人を対象とした災害想定訓練の実施 ・図書館での読み聞かせ等の活動協力 ・掲示板や観光マップ等の翻訳
評価等	・令和2年度から始まる小学校高学年における英語の教科化に向け、指導を充実させることができた。 ・ALTがお互いの授業を見学し、カリキュラムマネージャーによるALTの授業への助言機会を増やすことで、ALTの授業力が向上した。 ・各種ボランティア活動に参加し、国際理解教育に貢献することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成30年度決算)

事業名	91240 教育研究所運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約	・AI(人工知能)やIoT(様々なモノがインターネットと繋がりがり便利になる)、ICT(情報通信技術)などを活用した学習環境の整備に努めます。
			款	9	教育費		個別分野	1	学校教育		
			項	1	教育総務費		施策概要	1	自ら学び考える力の育つ教育の推進		
			目	2	事務局費		根拠計画	高山市教育振興基本計画			
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	3456								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究所(研究・研修センター・相談・資料センター)を中心に教職員や児童生徒等の支援の充実 ・であい塾の運営や相談体制の充実などによる不登校児童生徒の学級復帰への支援 ・幼保小連携協議会を中心とした活動による幼稚園や保育園から小学校への円滑な就学の援助 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・指導力向上に資する教員研修を行う。 ・指導主事が学校訪問し教職員の指導を行う。 ・であい塾(不登校児童生徒適応指導教室)の管理、運営を行う。 ・朝のスタートプランなどによる生活習慣形成の支援を行う。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		8,705	7,876	13,675	14,803	13,264	5,388
特定財源	国費()						
	県費(ふるさと魅力体験事業費 10/10等)	1,300	1,286	3,830	3,830	3,629	2,343
	その他()						
一般財源		7,405	6,590	9,845	10,973	9,635	3,045
個票枝番	主な事業内容						
	であい塾児童生徒送迎	460	381	460	460	459	78
	不登校児童生徒教育相談	480	480	480	480	480	0
	大学連携による研修等	140	73	140	140	49	△ 24
◎ 1	ふるさと魅力体験学習事業			2,500	2,500	2,450	2,450
◎ 2	カリキュラム・マネジメント充実事業			500	500	502	502
◎ 3	タブレット端末の導入			2,400	2,400	2,147	2,147

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		6,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
18,005	14,585	14,585	910	
3,000	3,000	3,000	△ 830	
15,005	11,585	11,585	1,740	
査定額	説明			
460				
960				
140				
2,500				
500				
3,740				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の研修等の実施 34回 延べ参加人数 856人 ・学校への出前講座の実施 ・校内研究支援と指導助言の実施 ・相談体制の整備 ・資料センターの設置 ・英語教育の推進 久々野小、久々野中 ・人権教育の推進 清見小、清見中
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校へ配置された講師、新規採用教師への指導に関する出前支援を多く実施した。また、教職員が希望する研修を開催することで、夏期休業中の回数等を見直すことが出来た。 ・今日的課題や学校の要望に応じた研修を計画し、1年間を通して計画的・継続的な研修を実施した。 ・適応指導教室であい塾の運営も順調で、子どもの学校復帰に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の研修等の実施 30回 延べ参加人数 894人 ・学校への出前講座の実施 ・校内研究支援と指導助言の実施 ・相談体制の整備(年間96件対応) ・資料センターの設置 ・人権教育の推進 清見小、清見中 ・カリキュラム・マネジメント充実事業 日枝中 ・ふるさと魅力体験事業 小学校8校 中学校2校 ・特別支援学級へのタブレット端末の導入
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校へ配置された講師、新規採用教師への指導に関する支援を実施した。また、校内研究に係る支援を強化した。 ・今日的課題や学校の要望に応じた研修を計画し、1年間を通して計画的・継続的な研修を実施した。 ・教育相談の要望件数が増えている中、適切に対応することが出来た。 ・適応指導教室であい塾の支援により、子どもの学校復帰に寄与した。 ・異学年が在籍する特別支援学級へのタブレット端末の導入により、各々の学年や個々の学習進度に応じて学ぶことができる個別学習の環境を整えることが出来た。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育の推進 ・自ら学び考える力の育つ教育の推進 ・学びのセーフティネットの構築
担当課 予算要求ポイント	・不登校児童生徒の学級復帰への支援

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成30年度決算)

事業名	91240 教育研究所運営事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 学校教育課	
枝番・内容	1 ふるさと魅力体験学習事業		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	9	教育費			
			<input type="checkbox"/> その他重要事業			項	1	教育総務費		内線	2358
			<input type="checkbox"/>			目	2	事務局費		作成年月	R1.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・岐阜県の自然、歴史、文化、産業等について、体験して学ぶふるさと教育に取り組み、ふるさとに対する誇りと愛着を育む。	概要	・岐阜県内の自然、歴史、文化、産業等のうち2箇所以上体験学習する。
----	---	----	-----------------------------------

[参考] H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	2,500
主な経費	・自動車借上料 ・入館料	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	2,500
	繰越	
	補正等	
	最終	2,500
決算額		2,450
対前年度増減額(決算)		2,450

H31予算要求(Action) (千円)

予算額	当初	2,500
主な経費	・自動車借上料 ・入館料	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・県内の自然、歴史、文化、産業等に関わる施設や名跡を訪れる体験学習を実施(3年間で市内全小中学校) ・木曾三川公園、杉原千畝記念館、かがみがはら航空宇宙科学博物館 ・平成30年度実施校 小学校 8校 中学校 2校 ※県委託事業	
[スケジュール] ・7月～11月 各校で順次実施	

事業実績・評価等	
[事業実績] ・県内の自然、歴史、文化、産業等に関わる施設や名跡を訪れる体験学習を実施(3年間で市内全小中学校) ・木曾三川公園、杉原千畝記念館、かがみがはら航空宇宙科学博物館 ・平成30年度実施校 小学校 8校 中学校 2校 ※県委託事業 [評価等] ・県内の自然、歴史、文化、産業等に関わる施設や名跡を訪れることで、岐阜県の魅力を新たに発見する機会を得ることができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・3年計画のため、R2年度完了予定 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・県内の自然、歴史、文化、産業等に関わる施設や名跡を訪れる体験学習を実施(3年間で市内全小中学校) ・木曾三川公園、杉原千畝記念館、かがみがはら航空宇宙科学博物館 ・平成31年度実施校 小学校 8校 中学校 2校 ※県委託事業	
[スケジュール] ・7月～11月 各校で順次実施	

主要事業個票(平成30年度決算)

事業名	91240 教育研究所運営事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 学校教育課
枝番・内容	2 カリキュラム・マネジメント充実事業		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	9	教育費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	教育総務費	内線	2358	
		<input type="checkbox"/>		目		2	事務局費	作成年月	R1.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域に開かれた教育課程の実現に向け、学校教育の改善、充実を進める。	概要	・児童生徒が主体となる発展的な授業作りについての調査・研究を実施
----	------------------------------------	----	----------------------------------

[参考] H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	500
主な経費	報償費	
	旅費	
	需用費	
対前年度増減額(当初予算)		500

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	500
	繰越	
	補正等	
	最終	500
決算額		502
対前年度増減額(決算)		502

H31予算要求(Action) (千円)

予算額	当初	500
主な経費	報償費	
	旅費	
	需用費	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・授業や休み時間の短縮により、教育課程にない時間を生み出し、地域や現代的な課題(防災やプログラミング教育)などに充てるとともに、その成果等について、調査・研究する。 ※県委託事業	
[スケジュール] ・4月 目標に向けての課題調査 ・4月～3月 計画を実施 ・5月・10月 大学教授による指導・検証 ・8月 有識者による講演 ・11月 成果検証 ・2月 大学教授による指導・検証により次年度の方向性を決定	

事業実績・評価等	
[事業実績] ・授業や休み時間の短縮により、教育課程にない時間を生み出し、地域や現代的な課題(地域に開かれた教育課程の研究)などに充てるとともに、その成果等について、調査・研究した。 ※県委託事業	
[評価等] ・新学習指導要領に示されたどのように学び、どのような資質・能力を身につけられるようにするのかを、教育課程の見直しを図りながら研究し、成果を得ることができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・2年計画のため、H31年度完了予定 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input checked="" type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・授業や休み時間の短縮により、教育課程にない時間を生み出し、地域や現代的な課題(防災やプログラミング教育)などに充てるとともに、その成果等について、調査・研究する。 ※県委託事業	
[スケジュール] ・4月 目標に向けての課題調査 ・4月～3月 計画を実施 ・5月・10月 大学教授による指導・検証 ・8月 有識者による講演 ・11月 成果検証 ・2月 大学教授による指導・検証により次年度の方向性を決定	

主要事業個票(平成30年度決算)

事業名	91240 教育研究所運営事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 学校教育課
枝番・内容	3 タブレット端末の導入		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	9	教育費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	教育総務費	内線	2358	
		<input type="checkbox"/>		目		2	事務局費	作成年月	R1.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・ICT教育の推進	概要	・特別支援教室へタブレットの配置
----	-----------	----	------------------

[参考] H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	2,400
主な経費	・タブレットリース	
対前年度増減額(当初予算)		2,400

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	2,400
	繰越	
	補正等	
	最終	2,400
決算額		2,147
対前年度増減額(決算)		2,147

H31予算要求(Action) (千円)

予算額	当初	3,740
主な経費	・タブレットリース	
対前年度増減額(当初予算)		1,340

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異学年が混在する特別支援学級における自主学習支援のためのタブレット端末の導入 ・対象学級(予定) 小学校 35学級 中学校 17学級 	
<p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月 入札 ・9月 納入 	

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異学年が混在する特別支援学級における自主学習支援のためのタブレット端末の導入 ・対象学級 小学校 35学級 中学校 14学級 <p>[評価等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異学年が在籍する特別支援学級へのタブレット端末の導入により、各々の学年や個々の学習進度に応じて学ぶことができる個別学習の環境を整えることが出来た。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年が混在する特別支援学級における学習の困難さに対応するため、継続した事業を実施する。 ・異学年の学級のみならず、特別支援学級に在籍する全ての児童生徒へ活用の範囲拡大を検討する必要がある。 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異学年が混在する特別支援学級における自主学習支援のためのタブレット端末の配置 ・対象学級(予定) 小学校 35学級 中学校 14学級 	
<p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年リース 	

事業シート(平成30年度決算)

事業名	91250 特別支援教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約
			款	9	教育費		個別分野	1	学校教育	
			項	1	教育総務費		施策概要	1	自ら学び考える力の育つ教育の推進	
			目	2	事務局費		根拠計画	高山市教育振興基本計画		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学びにくさ、生活のしづらさなどの困り感を抱えた児童生徒の教育的ニーズに応じて適した指導・援助を行い、自立を支援する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・就学相談会、特別支援教育講演会、教育支援委員会を開催する。 ・医療行為を必要とする障がい児等を訪問看護により支援する。 ・幼稚園・保育園と小学校、小学校と中学校、中学校と高等学校等、就学前から卒業までを見据えた切れ目ない支援を行う。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		1,330	865	1,110	1,110	786	△ 79
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		1,330	865	1,110	1,110	786	△ 79
個票枝番	主な事業内容						
	障がい児等に対する地域と一体化した教育支援	250	119	250	250	115	△ 4
	医療行為を必要とする児童生徒の学校活動に対する支援	1,080	746	860	860	671	△ 75

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
1,118	1,110	1,110	0	
1,118	1,110	1,110	0	
査定額	説明			
250				
860				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・就学相談会の実施 3回 ・特別支援教育講演会の実施 1回 148人 ・教育支援委員会の開催 2回 ・訪問看護の実施 12回
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援委員会の情報交流や巡回就学相談の事例も増えてきており、理解啓発の講演会についても数多くの参加を得ることが出来た。 ・適切な教育支援が行われるよう特別支援学校、盲学校、聾学校とも連携をとって進めている。一方、早期発見・切れ目ない支援という視点から、子ども発達支援センターや健康推進課と連携し、サポートブックをはじめとした療育システムの構築に努めた。 ・1年間を通して、今日的課題や参加者ニーズに応じた研修を計画したため、各講座の参加者は増えた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も教職員の資質向上のための研修を充実させていく。

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・就学相談会の実施 各小学校ごと ・特別支援教育講演会の実施 1回 124人 ・教育支援委員会の開催 2回 ・訪問看護の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児教育支援委員会の審議件数や就学相談の申込み件数も増えてきており、幼少期からの早期発見・早期対応を進めることが出来た。 ・理解啓発の講演会について、多くの参加を得ることが出来た。 ・適切な教育支援が行われるよう特別支援学校、聾学校とも連携をとって進めることが出来た。 ・切れ目ない支援という視点から、子ども発達支援センターと連携し、サポートブックの活用啓発に努めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も教職員の資質向上のための研修を充実させていく。

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成30年度決算)

事業名	92200 小学校運営事業費				予算	会計	1	一般会計	総 計 画	基本分野	3	教育・文化	市長公約	・児童・生徒の一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育、地域や地場産業を学び・体験する教育(郷土への誇り・愛着の醸成)などを充実します。
	款	9	教育費	個別分野		1	学校教育							
	項	2	小学校費	施策概要		1	自ら学び考える力の育つ教育の推進							
	目	2	教育振興費	根拠計画		高山市教育振興基本計画								
担当課	教育委員会事務局	学校教育課	内線	2359										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営に関する費用を負担することにより義務教育の充実を図る。 ・陸上記録会、音楽会など全教育活動を通して児童の心身の健全育成を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営に関する費用を負担する。 ・新入学時に安全な通学のため安全帽子と防犯ブザーを配付する。 ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査を実施し学級経営を支援する。 ・児童の健康診断を実施する。 ・音楽会や陸上記録会等の行事を開催する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		42,310	39,416	43,010	43,010	39,078	△ 338
特定財源	国費(へき地児童生徒援助費 1/3)		17			16	△ 1
	県費(学校基本調査事務費 10/10)		7			7	0
	その他(福祉健康基金繰入金 ほか)	2,100	1,800	1,900	1,900	1,670	△ 130
一般財源		40,210	37,592	41,110	41,110	37,385	△ 207
個票枝番	主な事業内容						
	防犯ブザーの配付	450	501	450	450	484	△ 17
	人間関係づくりのための心理検査の実施	2,830	2,830	2,830	2,830	2,824	△ 6
	小学校英語教育総合カリキュラムマネージャーの設置	4,900	4,245	4,900	4,900	4,353	108
	小学校運営事業	34,130	31,840	33,830	33,830	30,450	△ 1,390
◎ 1	道徳教科化に伴う指導書等購入			1,000	1,000	967	967

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		70,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
44,736	41,410	41,410	△ 1,600	
700	1,000	1,000	△ 900	
44,036	40,410	40,410	△ 700	
査定額	説明			
450				
2,830				
4,900				
33,230				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施(小3~6年生) 3,212人 ・児童健康診断 4,909人 ・防犯ブザーの配付 760人 ・小学校英語教育総合カリキュラムマネージャーの学校への訪問回数 92回
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的にも集団生活へのつまづきが始まるといわれている小3、小4への検査を追加し、小3~6年生に対する心理検査を年2回実施。各校で結果の分析をし児童の変化に気づくことで、早めの対策を講じることが出来た。 ・小学校英語教育総合カリキュラムマネージャーの助言による年間計画のスムーズな履行により、外国語の教科化等に向けて環境を整えることが出来た。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施(小3~6年生) 3,201人 ・児童健康診断 4,816人 ・防犯ブザーの配付 733人 ・小学校英語教育総合カリキュラムマネージャーの学校への訪問 148回 ・道徳教科化に伴う指導書、教師用教科書の購入 19校
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・小3~6年生に対する心理検査を年2回実施。各校で結果を分析し児童の変化に気づくことで、早めの対策を講じることが出来た。 ・小学校英語教育総合カリキュラムマネージャーの助言による年間計画のスムーズな履行により、外国語の教科化等に向けて環境を整えることが出来た。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成30年度決算)

事業名	92200 小学校運営事業	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 学校教育課
枝番・内容	1 道徳教科化に伴う指導書等の購入		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	9	教育費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	小学校費	内線	2358	
		<input type="checkbox"/>		目		2	教育振興費	作成年月	R1.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・主体的で対話的な深い学びを推進するため、次期学習指導要領改訂前に道徳教科を強化する。	概要	・道徳教科化に伴う指導書、教科書の購入
----	---	----	---------------------

【参考】H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	1,000
主な経費	・教科書・指導書の購入	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	1,000
	繰越	
	補正等	
	最終	1,000
決算額		967
対前年度増減額(決算)		967

H31予算要求(Action) (千円)

予算額	当初	
主な経費		
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・道徳教科化に伴う指導書、教師用教科書の購入	
[スケジュール] ・4月 入札、納入	

事業実績・評価等	
[事業実績] ・道徳教科化に伴う指導書、教師用教科書の購入 19校	
[評価等] ・次期学習指導要領に基づく道徳科授業の準備ができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・小学校道徳教科化に伴う指導書等の購入は完了 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	

事業シート(平成30年度決算)

事業名	92210 小学校心の教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約
			款	9	教育費		個別分野	1	学校教育	
			項	2	小学校費		施策概要	4	学びのセーフティネットの構築	
			目	2	教育振興費		根拠計画	高山市教育振興基本計画		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 個々の内面に寄り添い支援しながら、一人ひとりが持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。 児童の学校生活への不適応やいじめ、不登校問題などの未然防止を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 特別な教育支援や心のケアを必要としている児童の支援のため、保健相談員・特別支援員を配置する。 スクールカウンセラー(臨床心理士)を派遣し、心のケアを行う。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		47,723	47,667	60,650	60,650	55,668	8,001
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)			10,470	10,470	14,670	14,670
一般財源		47,723	47,667	50,180	50,180	40,998	△ 6,669
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	特別支援員・保健相談員の配置	45,673	45,672	58,600	58,600	53,656	7,984
	スクールカウンセラーの派遣	2,000	1,995	2,000	2,000	1,995	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		37,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
75,708	63,350	63,350	2,700	
	3,500	3,500	△ 6,970	
75,708	59,850	59,850	9,670	
査定額	説明			
61,300				
2,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士によるカウンセリング時間 399時間 保健相談員 59人配置 特別支援員 11人配置
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 学習や集団生活に「困り感」をかかえる児童に寄り添いながら、適した支援を行うことが出来た。 相談員のスキル向上のための研修をさらに充実させる必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 発達障がいや不登校傾向の児童への対応など、手厚い支援ができるよう継続して一人ひとりに寄り添う事業を実施する。
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士によるカウンセリング時間 399時間 保健相談員 42人配置 特別支援員 39人配置
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 学習や集団生活に「困り感」をかかえる児童に寄り添いながら、適した支援を行うことが出来た。 相談員のスキル向上のための研修をさらに充実させる。様々な事例をあげながら実践に結びつく研修が必要
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 発達障がいや不登校傾向の児童への対応、日本語が困難な児童への対応など、手厚い支援ができるよう継続して一人ひとりに寄り添う事業を実施する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	・学びのセーフティネットの構築
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(平成30年度決算)

事業名	92210 小学校心の教育推進事業費	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 学校教育課
枝番・内容	1 特別支援員・保健相談員の配置		<input checked="" type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	9	教育費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	小学校費	内線	2358	
		<input type="checkbox"/>		目		2	教育振興費	作成年月	R1.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・個々の内面に寄り添いながら、一人ひとりが持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。	概要	・特別支援員の配置 ・保健相談員の配置
----	---	----	------------------------

[参考] H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	45,250
	繰越	
	補正等	423
	最終	45,673
決算額		45,672
対前年度増減額(決算)		8,848

[参考] H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	58,600
主な経費	・特別支援員の配置 ・保健相談員の配置	
	対前年度増減額(当初予算)	
	13,350	
	※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり	

H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	58,600
	繰越	
	補正等	
	最終	58,600
決算額		53,656
対前年度増減額(決算)		7,984

H31予算要求(Action) (千円)

予算額	当初	61,300
主な経費	・特別支援員の配置 ・保健相談員の配置	
	対前年度増減額(当初予算)	
	2,700	
	※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり	

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援員の配置 11人 ・保健相談員の配置 59人 <p>[評価等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習や集団生活に「困り感」をかかえる児童に寄り添いながら、適した支援を行うことが出来た。 	<p>次年度以降の考え方(担当課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいや不登校傾向の児童への対応など、手厚い支援ができるよう継続して一人ひとりに寄り添う事業を実施する。
<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定	

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援員の配置 36人 特別支援学級における児童に対する個別支援 食事、排せつ、教室移動など日常生活上の介助 ・保健相談員の配置 38人 様々な教育的配慮を要する児童の支援 通常学級での学習や見守り支援 	<p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月～3月 授業支援等

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援員の配置 42人 特別支援学級における児童に対する個別支援 食事、排せつ、教室移動など日常生活上の介助 ・保健相談員の配置 39人 様々な教育的配慮を要する児童の支援 通常学級での学習や見守り支援 <p>[評価等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習や集団生活に「困り感」をかかえる児童に寄り添いながら、適した支援を行うことが出来た。 ・相談員のスキル向上のための研修をさらに充実させる。様々な事例をあげながら実践に結びつく研修が必要 	<p>次年度以降の考え方(担当課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいや不登校傾向の児童への対応、日本語が困難な児童への対応など、手厚い支援ができるよう継続して一人ひとりに寄り添う事業を実施する。
<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定	

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援員の配置 40人 ・保健相談員の配置 33人 	<p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月～3月 授業支援等

事業シート(平成30年度決算)

事業名	92220 小学校教育機器整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約	・AI(人工知能)やIoT(様々なモノがインターネットと繋がりがり便利になる)、ICT(情報通信技術)などを活用した学習環境の整備に努めます。
			款	9	教育費		個別分野	1	学校教育		
			項	2	小学校費		施策概要	1	自ら学び考える力の育つ教育の推進		
			目	2	教育振興費		根拠計画	高山市教育振興基本計画			
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 児童の学習意欲の向上と学力の定着を図る。 情報教育により情報化社会に対応した情報通信機器を活用できる力の習得や規範意識の向上を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信関連機器などの教具・教材を整備する。 学校内で使用する教材備品の購入
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		66,457	62,592	66,440	66,440	64,326	1,734
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金 ほか)						
一般財源		66,457	62,592	66,440	66,440	64,326	1,734
個票枝番	主な事業内容						
	小学校教育機器整備事業費	66,457	62,592	66,440	66,440	64,326	1,734
◎ 1	電子黒板の導入			1,700	1,700	1,310	1,310
	教育系情報ネットワークのセキュリティ強化						
	ICTの活用						

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		60,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
116,674	107,930	107,930	41,490	
	2,300	36,300	36,300	
116,674	105,630	71,630	5,190	
査定額	説明			
63,360				
2,270				
40,100				
2,200	パソコン教室の段階的なタブレット化			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 教育用PCを活用した授業の実施 情報モラル等の情報教育の充実 情報通信関連機器の(図書館/パソコン) 19台の更新 セキュリティの強化 19校
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 今後、文部科学省の目指すICT教育環境の整備基準を参考に、児童の授業の充実につながる環境整備を研究・検討することや、情報セキュリティポリシーを各校に周知し、遵守するよう徹底する必要がある。 セキュリティ強化のために、情報通信関連機器の配置等を見直す必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 継続して選定基準の作成・見直しを行いながら、早期発注に努める。 ICTの推進についての国の動向を注視しながら、情報通信関連機器の環境を整えていく必要がある。 児童に分かりやすい授業を行うためのツールとして通常学級や特別支援学級、少人数指導で使用する教育PCなど教育環境の整備を行う必要がある。

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 教育用PCを活用した授業の実施 情報モラル等の情報教育の充実 セキュリティの強化 19校 電子黒板の導入 19校
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 文部科学省の目指すICT教育環境の整備基準を参考に、児童の授業の充実につながる環境整備の高山市学校情報化計画を策定した。 情報セキュリティポリシーを各校に周知し、遵守するよう管理職への指導を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 高山市学校情報化計画に基づき、情報通信関連機器の環境を整える。

施策の実施方針	・ICT教育の推進
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 情報ネットワークのセキュリティ強化 プログラミング教育など情報教育の推進

財務部 査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 プログラミング教材については、各学校に配当している教材費において計画的に整備
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成30年度決算)

事業名	92220 小学校教育機器整備事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 学校教育課
枝番・内容	1 電子黒板の導入		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	9	教育費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	小学校費	内線	2358	
		<input type="checkbox"/>		目		2	教育振興費	作成年月	R1.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・情報教育により情報化社会に対応した情報通信機器を活用できる力の習得や学習理解の向上を図る。	概要	・電子黒板の設置
----	--	----	----------

【参考】H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	1,700
主な経費	・電子黒板リース	
対前年度増減額(当初予算)		1,700

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	1,700
	繰越	
	補正等	
	最終	1,700
決算額		1,310
対前年度増減額(決算)		1,310

H31予算要求(Action) (千円)

予算額	当初	2,270
主な経費	・電子黒板リース	
対前年度増減額(当初予算)		570

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・電子黒板の設置 小学校各校へ1台 計19台	
[スケジュール] ・6月 入札 ・9月 納入	

事業実績・評価等	
[事業実績] ・電子黒板の設置 小学校各校へ1台 計19台	
[評価等] ・電子黒板の導入により、国から配布された外国語活動のデジタル教材を用いた授業が各校で行われ、児童の主体的な学びに繋がった。	
次年度以降の考え方(担当課)	・高山市学校情報化計画に基づき、情報通信関連機器の環境を整える。 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・電子黒板の設置 小学校各校へ1台 計19台	
[スケジュール] ・通年リース	

事業シート(平成30年度決算)

事業名	92230 小学校図書教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約
			款	9	教育費		個別分野	1	学校教育	
			項	2	小学校費		施策概要	1	自ら学び考える力の育つ教育の推進	
			目	2	教育振興費		根拠計画	高山市教育振興基本計画		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 全小学校の図書館の蔵書について文部科学省基準を上回る図書内容を整備し、分野別でも基準を満たす。 読書に親しめる環境づくりを進めるとともに、学習・情報センターとして活用できる学校図書館にする。 新たに子どもの居場所づくりの場所としての空間づくりを進める。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館の管理・運営を行う。 分野ごとにバランスの取れた選書による図書購入を行う。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		52,140	51,993	51,940	51,940	51,594	△ 399
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	10,050	10,200	8,500	8,500	9,000	△ 1,200
一般財源		42,090	41,793	43,440	43,440	42,594	801
個票枝番							
	図書館指導員の全校配置	36,100	35,974	36,100	36,100	35,974	0
	小学校図書教育推進事業費	16,040	16,019	15,840	15,840	15,620	△ 399

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		42,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
53,920	52,450	52,450	510	
	2,000	2,000	△ 6,500	
53,920	50,450	50,450	7,010	
査定額	説明			
36,500				
15,950				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 図書館指導員の全校配置 小学校図書購入冊数 8,684冊
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 学習センター・情報センターとして学校図書館が機能していくように、教科と図書館を使った調べる学習との連携を図り、児童により必要な蔵書の充実を図った。 図書館指導員の全校配置により、図書館を使った調べる学習など学習センター・情報センターの機能が高まった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 学習、情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、また、子どもの居場所づくりのために学校図書館の効果的な活用についての研修、実践を強化する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 図書館指導員の全校配置 小学校図書購入冊数 8,071冊
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 学習センター・情報センターとして学校図書館が機能していくように、教科と図書館を使った調べる学習との連携を図り、児童により必要な蔵書の充実を図った。 図書館指導員の全校配置により、図書館を使った調べる学習など学習センター・情報センターの機能が高まった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 学習、情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、また、子どもの居場所づくりのために学校図書館の効果的な活用についての研修、実践を強化する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成30年度決算)

事業名	92240 小学校要保護及び準要保護等児童援助事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約
			款	9	教育費		個別分野	1	学校教育	
			項	2	小学校費		施策概要	4	学びのセーフティネットの構築	
			目	2	教育振興費		根拠計画	高山市教育振興基本計画		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的理由のため就学困難と認められる児童の就学を援助する。 ・特別支援学級等に在籍する児童の就学を奨励する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の収入等に応じて、必要な学用品費等や学校給食費の全部または一部を援助する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		23,100	18,385	22,900	22,900	19,611	1,226
特定財源	国費 (特別支援教育就学奨励費 1/2)	2,750	2,157	2,950	2,950	2,269	112
	県費 ()						
	その他()						
一般財源		20,350	16,228	19,950	19,950	17,342	1,114
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	要保護及び準要保護児童就学援助費	7,600	5,989	8,000	8,000	6,473	484
	要保護及び準要保護児童給食費	10,000	8,031	9,000	9,000	8,541	510
	特別支援教育就学奨励費	5,500	4,365	5,900	5,900	4,597	232

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		22,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
19,330	18,800	18,800	△ 4,100	
2,905	2,900	2,900	△ 50	
16,425	15,900	15,900	△ 4,050	
査定額	説明			
7,000				
6,000				
5,800				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・要保護・準要保護等児童援助費 341人
評価等	・児童の学用品の一部や給食費の実費などを支給し、児童扶養手当などによる支援と併せて安心して就学できる環境を整えた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・国の制度改正の動向等を把握しながら、引き続き、必要な援助、学校給食費の全部または一部を支給することにより就学を奨励する必要がある。 ・新入学用品費等について入学前の支給を実施する。
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・要保護・準要保護等児童援助費 363人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学用品の一部や給食費の実費などを支給し、児童扶養手当などによる支援と併せて安心して就学できる環境を整えた。 ・新入学用品費等について入学前の支給を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・国の制度改正の動向等を把握しながら、必要な援助、学校給食費の全部または一部を支給する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	・学びのセーフティネットの構築
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(平成30年度決算)

事業名	92240 小学校要保護及び準要保護等児童援助事業費	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 学校教育課
枝番・内容	1 要保護及び準要保護児童就学援助費		<input checked="" type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	9	教育費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	小学校費	内線		2358
		<input type="checkbox"/>		目		2	教育振興費	作成年月		R1.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・経済的理由のため就学困難と認められる児童の就学を援助する。	概要	・新入学児童学用品費を入学前に支給できるよう拡充
----	--------------------------------	----	--------------------------

【参考】H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	7,600
	繰越	
	補正等	
	最終	7,600
決算額		5,989
対前年度増減額(決算)		389

事業実績、評価等

[事業内容]
・要保護・準要保護等児童援助費 341人

[評価等]
・児童の学用品の一部や給食費の実費などを支給し、児童扶養手当などによる支援と併せて安心して就学できる環境を整えた。

次年度以降の考え方(担当課)	・新入学児童学用品費を入学前に支給することで就学を奨励していく。	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定
----------------	----------------------------------	--

【参考】H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	8,000
主な経費	・新入学児童学用品費(H30新入学児童)	
	・新入学児童学用品費(H31新入学児童)	
	・その他就学援助費	
対前年度増減額(当初予算)		400

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール

[事業内容]
・新入学児童学用品費を入学前に支給(H31新入学児童を対象)

[スケジュール]
・12月 保護者からの申請
・1月 定例教育委員会での審査
・2月 認定者に新入学児童学用品費を支給

次年度以降の考え方(担当課)	・新入学児童学用品費を入学前に支給することで就学を奨励していく。	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定
----------------	----------------------------------	--

H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	8,000
	繰越	
	補正等	
	最終	8,000
決算額		6,473
対前年度増減額(決算)		484

事業実績、評価等

[事業実績]
・新入学児童学用品費を入学前に支給(H31新入学児童を対象) 2人
※31年4月からの支給単価引上げに伴い、30度支給は支給額が低くなることを理解の上、申し込まれた方のみを対象(ただし、支給額の差額は政策として31年度に支給済)

[評価等]
・入学前に学用品費の支給を行うことにより、就学を奨励することが出来た。

次年度以降の考え方(担当課)	・新入学児童学用品費を入学前に支給することで就学を奨励していく。	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定
----------------	----------------------------------	--

H31予算要求(Action) (千円)

予算額	当初	7,000
主な経費	・新入学児童学用品費(H31新入学児童)	
	・新入学児童学用品費(R2新入学児童)	
	・その他就学援助費	
対前年度増減額(当初予算)		△ 1,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール

[事業内容]
・新入学児童学用品費を入学前に支給(R2新入学児童を対象)

[スケジュール]
・12月 保護者からの申請
・1月 定例教育委員会での審査
・2月 認定者に新入学児童学用品費を支給

次年度以降の考え方(担当課)	・新入学児童学用品費を入学前に支給することで就学を奨励していく。	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定
----------------	----------------------------------	--

事業シート(平成30年度決算)

事業名	92260 小学校郷土教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約	・児童・生徒の一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育、地域や地場産業を学び・体験する教育(郷土への誇り・愛着の醸成)などを充実します。
			款	9	教育費		個別分野	1	学校教育		
			項	2	小学校費		施策概要	3	地域全体の協働による郷土教育の推進		
			目	2	教育振興費		根拠計画	高山市教育振興基本計画			
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2344								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 各学校、地域の特色を活かした学校経営を行い、豊かな教育環境を創出する。 地域の方々から、総合的な学習の時間・クラブ活動・進路講話・外国語指導等を受け、豊かな学習活動を展開しながら、様々な方面の事柄に興味関心を持たせ、生きる力の礎を築く。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 各学校における特色ある学校経営を支援する。 各学校で、その地域の特色ある講師や、児童が興味関心をもてる講師を選定し、様々な学習活動を行う。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
今住んでいる地域の行事に参加している児童の割合	83.1%	79.9%	100%
将来の夢や目標を持っている児童の割合	87.5%	87.2%	100%
「学校・家庭・地域が連携した児童の教育環境が整っている」と感じている市民の割合	66.7%	66.6%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		8,740	8,579	8,980	8,980	8,604	25
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		8,740	8,579	8,980	8,980	8,604	25
個票枝番	主な事業内容						
	特色ある学校経営の推進	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	0
	子どもの個性・能力・創造性を伸ばすキャリア教育の推進	200	202	200	200	147	△ 55
	社会科副読本「飛騨の高山」	1,000	972	1,100	1,100	1,026	54
	外部講師活用事業	1,900	1,868	1,900	1,900	1,824	△ 44

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		8,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
9,218	8,840	8,840	△ 140	
9,218	8,840	8,840	△ 140	
査定額	説明			
5,000	特色ある学校経営推進協議会補助金			
200				
1,100				
1,900				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 19校で延べ102人の講師を活用 934時間 EST未来塾(キャリア教育推進事業)の開催 3回
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 各校に均等に交付された補助金や社会科副読本を利用して、特色ある教育活動を展開し、郷土を知り、郷土に愛着を感じる活動を行うことで、主体的で深い学びを推進する機会を設けることが出来た。 地域に出かけインタビューしたり、地域の方と将来の地域のあり方について語る時間をもち、地域、故郷に関心をもつ児童の育成に力を入れ、子どもの生きる力を育み郷土教育の推進を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 19校で延べ96名の講師を活用 912時間 EST未来塾(プログラミング講座)の開催 3回 特色ある学校経営推進事業 均等交付事業 19校で19件実施、認定交付事業 11校で14件実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 各校に均等に交付された補助金や社会科副読本を利用して、特色ある教育活動を展開し、郷土を知り、郷土に愛着を感じる活動を行うことで、主体的で深い学びを推進する機会を設けることが出来た。 EST未来塾では、プログラミング講座を通して、子どもたちの課題を解決するための力を育み、主体的に考え・行動できる人材育成を目指して実施することが出来た。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成30年度決算)

事業名	93200 中学校運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約
			款	9	教育費		個別分野	1	学校教育	
			項	3	中学校費		施策概要	1	自ら学び考える力の育つ教育の推進	
			目	2	教育振興費		根拠計画	高山市教育振興基本計画		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2359							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・学校運営に関する費用を負担することにより義務教育の充実を図る。	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営に関する費用を負担する。 ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査を実施し学級経営を支援する。 ・生徒の健康診断を実施する。 ・生徒会サミットなどの自主的な活動を支援する。
----	----------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	増減(b)-(a)
		29,627	26,756	29,750	29,750	△ 410
特定財源	国費(へき地児童生徒援助費 1/3)		16			5
	県費(学校基本調査事務費 10/10)		4			0
	その他()					
一般財源		29,627	26,736	29,750	29,750	△ 415
個票枝番	主な事業内容					
	人間関係づくりのための心理検査の実施	1,460	1,441	1,460	1,460	△ 51
	中学校運営事業	28,167	25,315	28,290	28,290	△ 359
	道徳教科化に伴う指導書等購入					

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		28,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
31,752	28,330	28,330	△ 1,420	
31,752	28,330	28,330	△ 1,420	
査定額	説明			
1,450				
26,600				
280				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施(中1.2年生) 1,631人 ・生徒健康診断 2,664人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・中1.2年生に対する心理検査を年2回実施。各校で結果の分析をし生徒の変化を気づくことで、早めの対策を講じることが出来た。 ・生徒の心身の健全育成のため、継続して事業を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・心理検査のより有効的な活用を検討するとともに、効果を検証していく必要がある。 ・本事業費は、生徒が充実した学校生活を送るための学校運営に必要な事務経費であり、今後も効率的な運営を行い、生徒の心身の健全育成のため、継続して事業を実施する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施(中1.2年生) 1,574人 ・生徒健康診断 2,545人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・中1.2年生に対する心理検査を年2回実施。各校で結果を分析し生徒の変化を気づくことで、早めの対策を講じることが出来た。 ・生徒の心身の健全育成のため、継続して事業を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・心理検査のより有効的な活用を検討するとともに、効果を検証していく必要がある。 ・本事業費は、生徒が充実した学校生活を送るための学校運営に必要な事務経費であり、今後も効率的な運営を行い、生徒の心身の健全育成のため、継続して事業を実施する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	・自ら学び考える力の育つ教育の推進
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成30年度決算)

事業名	93210 中学校心の教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約
			款	9	教育費		個別分野	1	学校教育	
			項	3	中学校費		施策概要	4	学びのセーフティネットの構築	
			目	2	教育振興費		根拠計画	高山市教育振興基本計画		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・個々の内面に寄り添いながら、一人ひとりが持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。	概要	・保健相談員等を配置し、特別な教育支援を必要としている生徒の支援と心に悩みを持つ生徒の心のケアにあたる。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		15,260	14,451	17,600	17,600	15,950	1,499
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)			4,000	4,000	4,000	4,000
一般財源		15,260	14,451	13,600	13,600	11,950	△ 2,501
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	特別支援員・保健相談員の配置	15,260	14,451	17,600	17,600	15,950	1,499

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		12,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
27,408	21,000	21,000	3,400	
	1,200	1,200	△ 2,800	
27,408	19,800	19,800	6,200	
査定額	説明			
21,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・保健相談員 22人配置 ・特別支援員 2人配置
評価等	・学習や集団生活に「困り感」をかかえる生徒に寄り添いながら、適した支援を行うことが出来た。 ・相談員のスキル向上のための研修をさらに充実させる必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・保健相談員 11人配置 ・特別支援員 17人配置
評価等	・学習や集団生活に「困り感」をかかえる生徒に寄り添いながら、適した支援を行うことが出来た。 ・相談員のスキル向上のための研修をさらに充実させる。様々な事例をあげながら実践に結びつく研修が必要
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	・学びのセーフティネットの構築
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(平成30年度決算)

事業名	93210 中学校心の教育推進事業費	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 学校教育課
枝番・内容	1 特別支援員・保健相談員の配置		<input checked="" type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	9	教育費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		3	中学校費	内線		2358
		<input type="checkbox"/>		目		2	教育振興費	作成年月		R1.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・個々の内面に寄り添いながら、一人ひとりが持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。	概要	・特別支援員の配置 ・保健相談員の配置
----	---	----	------------------------

[参考] H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	15,260
	繰越	
	補正等	
	最終	15,260
決算額		14,451
対前年度増減額(決算)		△ 1,855

[参考] H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	17,600
主な経費	・特別支援員の配置 ・保健相談員の配置	
対前年度増減額(当初予算)		2,340

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	17,600
	繰越	
	補正等	
	最終	17,600
決算額		15,950
対前年度増減額(決算)		1,499

H31予算要求(Action) (千円)

予算額	当初	21,000
主な経費	・特別支援員の配置 ・保健相談員の配置	
対前年度増減額(当初予算)		3,400

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援員の配置 22人 ・保健相談員の配置 2人 <p>[評価等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習や集団生活に「困り感」をかかえる児童に寄り添いながら、適した支援を行うことが出来た。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいや不登校傾向の児童への対応、日本語が困難な児童への対応など、手厚い支援ができるよう継続して一人ひとりに寄り添う事業を実施する。 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援員の配置 15人 特別支援学級における生徒に対する個別支援 食事、排せつ、教室移動など日常生活上の介助 ・保健相談員の配置 8人 様々な教育的配慮を要する生徒の支援 通常学級での学習や見守り支援 	
[スケジュール] ・4月～3月 授業支援等	

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援員の配置 11人 特別支援学級における生徒に対する個別支援 食事、排せつ、教室移動など日常生活上の介助 ・保健相談員の配置 17人 様々な教育的配慮を要する生徒の支援 通常学級での学習や見守り支援 <p>[評価等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習や集団生活に「困り感」をかかえる生徒に寄り添いながら、適した支援を行うことが出来た。 ・相談員のスキル向上のための研修をさらに充実させる。様々な事例をあげながら実践に結びつく研修が必要 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいや不登校傾向の生徒への対応、日本語が困難な生徒への対応など、手厚い支援ができるよう継続して一人ひとりに寄り添う事業を実施する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援員の配置 21人 ・保健相談員の配置 4人 	
[スケジュール] ・4月～3月 授業支援等	

事業シート(平成30年度決算)

事業名	93220 中学校教育機器整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約	・AI(人工知能)やIoT(様々なモノがインターネットと繋がりがり便利になる)、ICT(情報通信技術)などを活用した学習環境の整備に努めます。
			款	9	教育費		個別分野	1	学校教育		
			項	3	中学校費		施策概要	1	自ら学び考える力の育つ教育の推進		
			目	2	教育振興費		根拠計画	高山市教育振興基本計画			
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習意欲の向上と学力の定着を図る。 情報教育により情報化社会に対応した情報通信機器を活用できる力の習得や規範意識の向上を図る。 中学校教育機器の充実 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信関連機器などの教具・教材を整備する。 学校内で使用する教材備品の購入
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		52,596	50,254	46,390	46,390	43,127	△ 7,127
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金 ほか)	5,000	5,000				
一般財源		47,596	45,254	46,390	46,390	43,127	△ 2,127
個票枝番	主な事業内容						
	中学校教育機器整備事業費	52,596	50,254	46,390	46,390	43,127	△ 7,127
	教育系情報ネットワークのセキュリティ強化						
	ICTの活用						

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		44,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
76,015	72,320	72,320	25,930	
	1,450	25,450	25,450	
76,015	70,870	46,870	480	
査定額	説明			
45,420				
25,500				
1,400				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 教育用PCを活用した授業の実施 情報モラル等の情報教育の充実 情報通信関連機器(図書館/パソコン)の更新 12台 セキュリティの強化 12校
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 今後、文部科学省の目指すICT教育環境の整備基準を参考に、生徒の授業の充実につながる環境整備を研究・検討することや、情報セキュリティポリシーを各校に周知し、遵守するよう徹底する必要がある。 セキュリティ強化のために、情報通信関連機器の配置等を見直す必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 継続して選定基準の作成・見直しを行いながら、早期発注に努める。 ICTの推進について国の動向を注視しながら、情報通信関連機器の環境を整えていく必要がある。 生徒に分かりやすい授業を行うためのツールとして通常学級や特別支援学級、少人数指導で使用する教育PCなど教育環境の整備を行う必要がある。

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 教育用PCを活用した授業の実施 情報モラル等の情報教育の充実 セキュリティの強化 12校
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 文部科学省の目指すICT教育環境の整備基準を参考に、生徒の授業の充実につながる環境整備の高山市学校情報化計画を策定した。 情報セキュリティポリシーを各校に周知し、遵守するよう管理職への指導を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 高山市学校情報化計画に基づき、情報通信関連機器の環境を整える。

施策の実施方針	・ICT教育の推進
担当課 予算要求ポイント	・情報ネットワークのセキュリティ強化

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成30年度決算)

事業名	93230 中学校図書教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約
			款	9	教育費		個別分野	1	学校教育	
			項	3	中学校費		施策概要	1	自ら学び考える力の育つ教育の推進	
			目	2	教育振興費		根拠計画	高山市教育振興基本計画		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・全中学校の図書館の蔵書について文部科学省基準を上回る図書内容を整備し、分野別でも基準を満たす。 ・読書に親しめる環境づくりを進めるとともに、学習・情報センターとして活用できる学校図書館にする。 ・新たに子どもの居場所づくりの場所としての空間づくりを進める。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の管理・運営を行う。 ・分野ごとにバランスの取れた選書による図書購入を行う。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		36,960	36,861	36,960	36,960	36,867	6
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	6,350	6,400	5,000	5,000	5,700	△ 700
一般財源		30,610	30,461	31,960	31,960	31,167	706
個票枝番	主な事業内容						
	図書館指導員の全校配置	22,800	22,721	22,800	22,800	22,721	0
	中学校図書教育推進事業費	14,160	14,140	14,160	14,160	14,146	6

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		30,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
37,900	37,180	37,180	220	
	1,300	1,300	△ 3,700	
37,900	37,180	35,880	3,920	
査定額	説明			
23,000				
14,180				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館指導員の全校配置 ・中学校図書購入冊数 7,093冊
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・学習センター・情報センターとして学校図書館が機能していくように、教科と図書館を使った調べる学習との連携を図り、生徒により必要な蔵書の充実を図った。 ・図書館指導員の全校配置により、学習センター・情報センターの機能が高まった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習、情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、また、子どもの居場所づくりのために学校図書館の効果的な活用についての研修、実践を強化する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館指導員の全校配置 ・中学校図書購入冊数 6,785冊
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・学習センター・情報センターとして学校図書館が機能していくように、教科と図書館を使った調べる学習との連携を図り、生徒により必要な蔵書の充実を図った。 ・図書館指導員の全校配置により、学習センター・情報センターの機能が高まった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習、情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、また、子どもの居場所づくりのために学校図書館の効果的な活用についての研修、実践を強化する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成30年度決算)

事業名	93240 中学校要保護及び準要保護等生徒援助事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約
			款	9	教育費		個別分野	1	学校教育	
			項	3	中学校費		施策概要	4	学びのセーフティネットの構築	
			目	2	教育振興費		根拠計画	高山市教育振興基本計画		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的理由のため就学困難と認められる生徒の就学を援助する。 ・特別支援学級等に在籍する生徒の就学を奨励する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の収入等に応じて、必要な学用品費等や学校給食費の全部または一部を援助する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		33,300	25,562	33,200	33,200	19,767	△ 5,795
特定財源	国費 (特別支援教育就学奨励費 1/2)	2,300	1,153	2,100	2,100	1,347	194
	県費 ()						
	その他()						
一般財源		31,000	24,409	31,100	31,100	18,420	△ 5,989
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	要保護及び準要保護生徒就学援助費	17,800	15,088	20,000	20,000	10,908	△ 4,180
	要保護及び準要保護生徒給食費	10,900	8,168	9,000	9,000	6,249	△ 1,919
	特別支援教育就学奨励費	4,600	2,306	4,200	4,200	2,610	304

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		32,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
25,070	23,200	23,200	△ 10,000	
2,125	2,100	2,100	0	
22,945	21,100	21,100	△ 10,000	
査定額	説明			
14,000				
5,000				
4,200				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・要保護・準要保護等生徒援助費 213人
評価等	・生徒の学用品の一部や給食費の実費などを支給し、児童扶養手当などによる支援と併せて安心して就学できる環境を整えた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・国の制度改正の動向等を把握しながら、引き続き、必要な援助、学校給食費の全部または一部を支給することにより就学を奨励する必要がある。 ・新入学用品費等について入学前の支給を実施する。
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・要保護・準要保護等生徒援助費 184人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学用品の一部や給食費の実費などを支給し、児童扶養手当などによる支援と併せて安心して就学できる環境を整えた。 ・新入学用品費等について入学前の支給を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・国の制度改正の動向等を把握しながら、必要な援助、学校給食費の全部または一部を支給する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	・学びのセーフティネットの構築
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成30年度決算)

事業名	93240 中学校要保護及び準要保護等生徒援助事業費	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 学校教育課
枝番・内容	1 要保護及び準要保護生徒就学援助費		<input checked="" type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	9	教育費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		3	中学校費	内線		2358
		<input type="checkbox"/>		目		2	教育振興費	作成年月		R1.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・経済的理由のため就学困難と認められる生徒の就学を援助する。	概要	・新入学生徒学用品費を入学前に支給できるよう拡充
----	--------------------------------	----	--------------------------

【参考】H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	17,800
	繰越	
	補正等	
	最終	17,800
決算額		15,088
対前年度増減額(決算)		222

事業実績、評価等

[事業内容]
・要保護・準要保護等児童援助費 213人

[評価等]
・生徒の学用品の一部や給食費の実費などを支給し、児童扶養手当などによる支援と併せて安心して就学できる環境を整えた。

次年度以降の考え方(担当課)	・新入学児童学用品費を入学前に支給することで就学を奨励していく。	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定
----------------	----------------------------------	--

【参考】H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	20,000
主な経費	・新入学生徒学用品費(H30新入学生徒)	
	・新入学生徒学用品費(H31新入学生徒)	
	・その他就学援助費	
対前年度増減額(当初予算)		2,200

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール

[事業内容]
・新入学生徒学用品費を入学前に支給(H31新入学生徒を対象)

[スケジュール]
・12月 保護者からの申請
・1月 定例教育委員会での審査
・2月 認定者に新入学生徒学用品費を支給

次年度以降の考え方(担当課)	・新入学児童学用品費を入学前に支給することで就学を奨励する。	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定
----------------	--------------------------------	--

H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	20,000
	繰越	
	補正等	
	最終	20,000
決算額		10,908
対前年度増減額(決算)		△ 4,180

事業実績、評価等

[事業評価]
・新入学生徒学用品費を入学前に支給(H31新入学生徒を対象)5人
※31年4月からの支給単価引上げに伴い、30度支給は支給額が低くなることを理解の上、申し込まれた方のみを対象(ただし、支給額の差額は政策として31年度に支給済)

[評価等]
・入学前に学用品費の支給を行うことにより、就学を奨励することができた。

次年度以降の考え方(担当課)	・新入学児童学用品費を入学前に支給することで就学を奨励する。	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定
----------------	--------------------------------	--

H31予算要求(Action) (千円)

予算額	当初	14,000
主な経費	・新入学生徒学用品費(H31新入学生徒)	
	・新入学生徒学用品費(R2新入学生徒)	
	・その他就学援助費	
対前年度増減額(当初予算)		△ 6,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール

[事業内容]
・新入学生徒学用品費を入学前に支給(R2新入学生徒を対象)

[スケジュール]
・12月 保護者からの申請
・1月 定例教育委員会での審査
・2月 認定者に新入学生徒学用品費を支給

次年度以降の考え方(担当課)	・新入学児童学用品費を入学前に支給することで就学を奨励する。	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定
----------------	--------------------------------	--

事業シート(平成30年度決算)

事業名	93260 中学校郷土教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総 計 画	基本分野	3	教育・文化	市長公約	・児童・生徒の一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育、地域や地場産業を学び・体験する教育(郷土への誇り・愛着の醸成)などを充実します。
			款	9	教育費		個別分野	1	学校教育		
			項	3	中学校費		施策概要	3	地域全体の協働による郷土教育の推進		
			目	2	教育振興費		根拠計画	高山市教育振興基本計画			
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 各学校、地域の特色を活かした学校経営を行い、豊かな教育環境を創出する。 地域の方々から、総合的な学習の時間・クラブ活動・進路講話・外国語指導等を受け、豊かな学習活動を展開しながら、様々な方面の事柄に興味関心を持たせ、生きる力の礎を築く。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 各学校における特色ある学校経営を支援する。 各学校で、その地域の特色ある講師や、生徒が興味関心をもてる講師を選定し、様々な学習活動を行う。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
今住んでいる地域の行事に参加している生徒の割合	69.3%	71.2%	100%
将来の夢や目標を持っている生徒の割合	75.0%	74.1%	100%
「学校・家庭・地域が連携した生徒の教育環境が整っている」と感じている市民の割合	66.7%	66.6%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		5,730	5,411	5,730	5,730	5,414	3
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		5,730	5,411	5,730	5,730	5,414	3
個票枝番	主な事業内容						
	特色ある学校経営の推進	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	0
	子どもの個性・能力・創造性を伸ばすキャリア教育の推進	200	222	200	200	147	△ 75
	外部講師活用事業	1,800	1,618	1,800	1,800	1,738	120

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		5,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
5,977	5,730	5,730	0	
5,977	5,730	5,730	0	
査定額	説明			
3,200	特色ある学校経営推進協議会補助金			
200				
1,800				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 12校で延べ62人の講師を活用 809時間 EST未来塾(キャリア教育推進事業)の開催 3回
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 各校に均等に交付された補助金を利用して、特色ある教育活動を展開し、郷土を知り、郷土に愛着を感じる活動を行うことで、主体的で深い学びを推進する機会を設けることが出来た。 地域に出かけインタビューしたり、地域の方と将来の地域のあり方について語る時間をもち、地域、故郷に関心をもつ生徒の育成に力を入れ、子どもの生きる力を育み郷土教育の推進を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある教育活動は、一人ひとりの生徒に生きる力を育むとともに郷土教育の推進や地域との連携に成果をあげており、なくてはならない貴重な事業となっている。各校が大切にしている特色ある活動や新規に企画される活動が地域の活性化につながっていく事業に発展するよう工夫を重ね、より高い目標達成ができるよう推進する。

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 12校で延べ61人の講師を活用 869時間 EST未来塾(プログラミング講座)の開催 1回 特色ある学校経営推進事業 均等交付事業 12校で12件実施、認定交付事業 11校で7件実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 各校に均等に交付された補助金を利用して、特色ある教育活動を展開し、郷土を知り、郷土に愛着を感じる活動を行うことで、主体的で深い学びを推進する機会を設けることが出来た。 EST未来塾では、プログラミング講座を通して、子どもたちの課題解決するための力を育み、主体的に考え・行動できる人材育成を目指して実施することが出来た。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある教育活動は、生徒に生きる力を育むとともに郷土教育の推進や地域との連携に成果をあげており、なくてはならない貴重な事業である。各校で特色ある活動を企画したり、地域の活性化につなげたりして工夫し、一層の推進を図る。

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成30年度決算)

事業名	93290 中学校部活動支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約	・義務教育における給食費の軽減やクラブ活動遠征費などの学校生活に関わる費用への支援を行います。
			款	9	教育費		個別分野	1	学校教育		
			項	3	中学校費		施策概要	2	豊かな心と健やかな体を育む教育の推進		
			目	2	教育振興費		根拠計画	高山市教育振興基本計画			
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2359								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・部活動大会派遣等に要する経費の助成により、生徒の心身の健全育成を図る。	概要	・部活動やクラブにおいて各種大会へ派遣される生徒、教員等の経費の1/2を補助する。
----	--------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		10,637	10,637	9,950	9,950	8,137	△ 2,500
特定財源	国費 ()						
	県費 (部活動指導員配置事業費 2/3)						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)						
一般財源		10,637	10,637	9,950	9,950	8,137	△ 2,500
個票枝番	主な事業内容						
	中学校部活動に対する支援	1,950	1,815	1,950	1,950	1,725	△ 90
	各種大会派遣に対する支援	8,687	8,822	8,000	8,000	6,412	△ 2,410
	部活動指導員の配置						

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		19,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
24,225	19,150	19,150	9,200	
4,032	4,800	4,800	4,800	
	100	100	100	
20,193	14,250	14,250	4,300	
査定額	説明			
1,950	中学校部活動補助金			
10,000				
7,200				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・各種大会派遣補助金 県大会出場 73件 東海大会出場 21件 全国大会出場 10件
評価等	・部活動に対して、公平かつ効果的な支援が出来た。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・部活動に対して、公平かつ効果的な支援をする。 ・国の部活動指導員制度の活用を検討する。 ・国の運動部活動のあり方に関する総合的なガイドラインの策定を受け、生徒の自主性を重視する考え方を今後示す必要がある。

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・各種大会派遣補助金 県大会出場 57件 東海大会出場 18件 全国大会出場 12件
評価等	・部活動に対して、公平かつ効果的な支援が出来た。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定 ・部活動及びクラブ活動に対して、公平かつ効果的な支援をする。 ・部活動指導員を有効に活用する。

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	・部活動等の大会派遣支援の充実 ・部活動指導にかかる教員負担軽減

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり